



# 甲州市塩山 ひがし公民館だより

館長 佐田 弘和 ( )  
主事 平山 茂 ( )

## 大盛況！ミニギャラリー・ミニライブ

去る1月23日から25日まで東公民館において、「ミニギャラリー・ミニライブ」が開催されました。これまでお知らせしてきましたとおり、本年は文化祭開催の年ではありませんが、地域の皆さんや利用団体の皆さんの日ごろの活動の成果の発表の場を確保し、公民館を地域の皆さんの交流の場とするため、初めて企画しました。この三日間は十年に一度という最強で最長の寒波襲来の最中でしたが、想定を超える多くの皆さんが来館されました。

### ミニギャラリー

昨年度と同様に塩山南小学校1年生の絵画を展示しました。「ものがたりを読んで」「ものがたりを聴いて」というテーマで作品を仕上げたそうです。抽象的なテーマにもかかわらず、授業の中で読んだり聴いたりしたお話のひと場面を表現したことが容易に想像できました。水彩で塗る、クレヨンやマジックで描く、ハサミで切る、糊で貼り付ける等の様々な技法で表現しており、その色使い、色の濃淡、筆のタッチ、はさみの切り方等々本当に個性豊かな作品の数々でした。



一方、赤尾保育園の年長組の皆さんは「だるまと今年の干支」というテーマで作品を仕上げました。見本のだるまを見て描くというものですが、だるまの表情が千差万別で本当に面白かったです。ニコニコしているだるま、少し怒ったようなだるま、少し寂しそうなだるま等々観ていると思わずニンマリしてしまうような作品でした。だるまのお腹には自分の名前を筆で書いてありました。周辺には金銀の折り紙がちりばめられ、その一角には今年の干支の馬の折り紙が貼り付けられていました。



家族で来館された方々は自分の作品を探し、その時の場面のことやきっかけ、思いなどについて言葉を交わしていました。「なんのお話?」「どうやってこれを描いたの?」「じょうずだね」などとたくさんのやり取りをしていました。作品の前で記念写真も撮っていました。



またお友達の作品を見て「〇〇ちゃんのだね」「じょうずだね」などと、会話が弾んでいました。ご家族の方々も、自分のご家族の作品だけではなく、はじからはじまですべての作品をご覧になっていました。中には「1年間でこんなに成長するんだね」と保育園から1年生への成長の様子



を語る方もいらっしゃいました。

このギャラリーで「初めてこの公民館に来ました」という方もいらっしゃいました。これを機会に公民館活動に興味を持っていただけたことがとてもうれしく思えました。

## ミニライブ

今年度初めての企画でしたので定例利用団体の参加は一つでしたが、それでも関係の皆さんが集まってくれ素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。お客様も想定をはるかに超え、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。



### 吉岡寛道さん

昨年の文化祭に引き続き、定番の昭和フォークを艶やかな甘い声で歌ってくれました。一緒に出演するはずの矢澤裕次さんが急遽出演できなくなったため、館長がサイドをサポート。美しいハーモニー(?)となりました。そして4曲目に披露されたオリジナル曲「白い冬」は、東日本大震災の年に湧き上がる思いを吉岡さんが作曲したオリジナル曲で、作った経緯、想いなどが曲の前に話され、ひととき聴衆の胸に突き刺さる曲でした。

### メイプルファンタスティックバンド



ブラスセクションを有し8人で構成されるバンドですが、今回のライブには都合で4人が来れず4人での演奏でした。それでも「鼓響」のゆかりさん、そして赤鬼に扮した「TOMOTOMO.Shiori」さんに手伝っていただき5曲を演奏しました。クラリネット、ホルン、ギター、そして



様々なパーカッションと構成はシンプルでしたが、ほっこりとする心温まる演奏でした。次回はきっとフルバンドで奏でてくれるでしょう。

### 鼓響

富士吉田から8人で来てくださいました。触れ込みどおり「観ていて聴いていて楽しくなる」演目でした。軽快なお囃子から南京玉すだれ、踊り、勇壮な太鼓などバラエティーに富んだ演目で、聴衆をひとときも飽きさせない素晴らしい演奏でした。曲間で語られるMCも軽快で引き込まれていました。今年で結成30周年だそうです。さすがですね。



### TOMOTOMO. Shioriさん

昨年の文化祭に引き続いての参加でした。あいみょんに始まりあいみょんで終わる4曲は強烈な選曲構成でした。この日のために「マイマイク」を購入したそうです。また定評の歌唱力とともにギタープレイテクニックも昨年よりも相当アップしていました。最後に演奏した「貴方解剖純愛歌・死ぬ」はタイトルもさることながら、そのダイナミックなギタープレイと歌唱は観ているものを圧倒していました。





### アルパカ 33

懐かしい名曲「初恋」のアカペラから入り、「にじいろ」まで4曲を歌い上げました。メンバーの平均年齢は今回のバンドの中でも一番若いにもかかわらず、老若男女問わず、古今東西を網羅した広いレパートリーの中から素晴らしい曲を選曲し披露してくれました。トリにふさわしい演奏でした。最後にみんなで歌った「翼をください」のバック



演奏も担ってくれ、ライブの最後を彩っていました。

文化祭の狭間の年でしたが、今回の企画によりたくさんの方々が公民館を訪れてくださったことは本当にうれしいことでした。初めての企画で様々な課題もあるとは思いますが、試行錯誤しながらも、公民館活動の目的を達成するため課題を解決しながら新しいスタイルを考えていければと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

## 童謡フェスティバル～ひびけ山河へみんなの歌声～ 甲州市生涯学習推進大会行われる

去る2月14日（土曜日）甲州市民文化会館のホールにおいて行われた、甲州市生涯学習推進大会の童謡フェスティバルに、東公民館「童謡の会」のみなさんが参加されました。この会はその永い歴史により甲州市民の明るく心豊かな「ひとづくり・ふるさとづくり」に寄与しています。会の前半には、市内小中学校、および高等学校から子どもたちの意見発表がありました。どの発表も甲州市の歴史、文化、そして未来に対して真剣に考える姿がありました。その後の童謡フェスティバルには市内から11の団体が参加し日ごろの練習の成果を発表していました。

各団体はそれぞれ趣向を凝らした選曲と演出で個性を発揮していました。子どもさんが指揮をしたり、小道具を使ったりとそのアピールの仕方は様々で、観ている人たちを飽きさせない工夫がそこそこに見受けられました。

わが東公民館「童謡の会」の皆さんは、本年は『希望のささやき』『銀色の道』の2曲を歌いました。この2曲の選曲の素晴らしさもさる

ことながら、演奏も心のひだにしみてくるような演奏でした。力がみなぎり軽快ではないけれど、永く人生を重ねたその重みと渋み、そしてその生きざまが伝わってきて「童謡の



会」の皆さんの『お人柄』がそのまま伝わるような演奏でした。2年ぶりにそろった平山洋美先生の指揮、伊藤広美先生の伴奏も盤石で、安心して演奏を聴くことができました。来年はどんな「わび」「さび」を聴かせてもらえるのでしょうか？皆さんのますますのご健康をお祈りいたします。



## 俳句教室塩寿会の皆さま

## ふた月分のの作品

すずめ蜂 深まる冬に 巣にこもり (三枝 茂男)

いらざるな 風に枯葉は 吹き溜り (常泉 仁志)

新春や ガタンゴトンの 田舎道 (沢登 昌弘)

軽トラに 積まれた枯葉 園内に (小沢 一恵)

囲炉裏端 まゆだま並ぶ 小正月 (河村 ひさ子)

女正月 時計の針も 気まぐれに (吉田 功子)

新年に 兄の米寿で 祝い会 (中村 操)

北風を 物ともせずに 奪の輪 (三枝 茂男)

北風を 背にしてメール 手のふるえ (常泉 仁志)

鬼の面 付けて幼児の 豆をまく (沢登 昌弘)

寄せ鍋の 具材揃えて レジを待つ (小沢 一恵)

飛び石の すき間にそつと 帰り花 (河村 ひさ子)

寄せ鍋の 具材メモして 忘れおり (吉田 功子)

寄せ鍋を 囲んで笑顔 母の影 (中村 操)

- 写真のように塩山中学校 PTA の方より雑巾をいただきました。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。
- 3月11日(水)の午前中ですが、利用団体が複数で駐車場が足りなくなる可能性がありますので、館庭を開放します。ご利用ください。
- 3月15日(日)16:30~に令和7年度第2回運営委員・利用団体代表者会議を行います。関係の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



お知らせ